

総合動画ポータルサイト「BIGLOBE ストリーム」

BIGLOBE Stream: Broadband Portal Site

大 泉 俊 雄*
Toshio Oizumi

高 野 元*
Hajime Takano

神 場 知 成*
Tomonari Kamba

要 旨

ブロードバンド環境の急激な広がりに伴い、動画や音声を中心とした情報サイトへのニーズが非常に大きくなってきました。「BIGLOBE ストリーム」は、その要望に応えるべく、様々なジャンルの動画を集めて、視聴者が気軽に楽しめるように構築した総合動画ポータルサイトです。

本稿では、この「BIGLOBE ストリーム」のサイト構成と運用・編成基盤技術、ビジネスモデルを中心に紹介します。

With the spread of the broadband Internet, a lot of people are coming to access web sites which provide movies, animations and sounds. In this environment, NEC has developed "BIGLOBE Stream," which is a portal site that the users can enjoy various movies and animations.

This paper describes the site composition, operation, organization, and its business model.

1. まえがき

ここ数年でインターネットは常時接続環境が主流になり、現在では、ADSL接続を中心とする高帯域常時接続環境で利用している消費者は、インターネット人口の過半数を占めるまでになりました。今後は、光接続を中心とした、さらなる高帯域接続が一般化していくものと思われ、これに伴い、ネット上の各サイト運営・コンテンツ編成のあり方やユーザのネット利用形態も大きく変化していくものと考えられます。

具体的には、低帯域接続ユーザの閲覧環境をも意識したテキスト・画像を中心としたサイト構成から、動画・音声を駆使してコンテンツ自体の訴求を優先させたサイト構成がさらに増えてくるものと思われます。一方、消費者の利用形態も、必要な情報を得るときにネットに接続して目的のサイトを閲覧する形態から、テレビ番組をなんとなく長時間見ているのと同じ感覚で、お気に入りのサイトを中心

に長時間にわたってネット接続を続ける形態が、より一般化してくるものと思われます。

その結果、消費者が様々な情報を得る手段であり、かつ、コンテンツや情報を持つ者が情報を発信する場でもあるインターネットは、テレビ、新聞、雑誌、ラジオなどと同様な、いわゆる“メディア”としての役割を持ち始めています。BIGLOBE ストリームは、このようなインターネットを取り巻く環境の変化をふまえて、“動画”を中心とした情報コンテンツの集積と消費者への情報発信を他社に先駆けて推し進めることで、BIGLOBEの次世代ポータル事業の中心となる新しいメディアを創出すべく事業展開しているものです。

2. BIGLOBE ストリームのサイト概要

2.1 サイトのコンセプト

BIGLOBE ストリームは、ADSL、もしくは光接続環境を利用している消費者の利用を前提としており、主に500kbps～1Mbpsの動画を常時約500本以上配信しています。そのサイト運営・編成は、以下の3つの基本的な考え方に基いています。

(1) 消費者の求める情報コンテンツのなかで、特に「動画」で見せることが効果的であるものを、映画・音楽などのエンターテインメント情報だけでなく、ショッピング、レジャー、ライフスタイルにかかわる分野まで幅広く集め、適切なジャンル編成を行って提供していくこと。

(2) ジャンル別に編成された一連の動画を、テレビを見ているのと同じ感覚で気楽に視聴していただきつつ、ネットならではの「より深い情報探索」も可能とするようなユーザインタフェースを提供していくこと。

(3) インターネット上で幅広く動画による情報提供を行うことで、“メディア”としての認知をさらに広めるべく、BIGLOBE会員に限らず、すべての消費者に対して無料で動画コンテンツを提供していくこと。

2.2 サイトの構成

図1は、BIGLOBE ストリームのサイト画面構成で、前述

* BIGLOBE ビジネス事業部
BIGLOBE Business Services Division

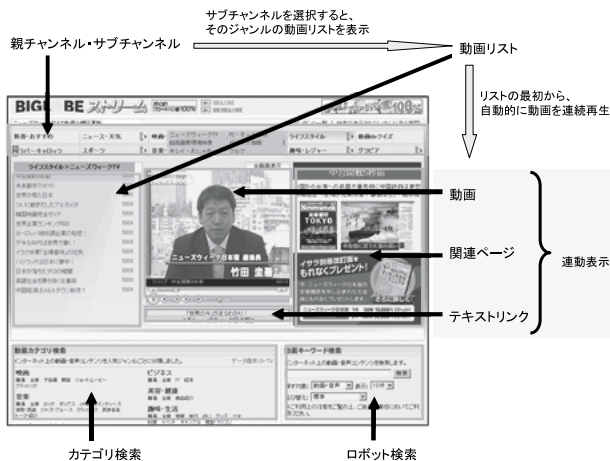


図1 サイト画面構成
Fig.1 Screen configuration.

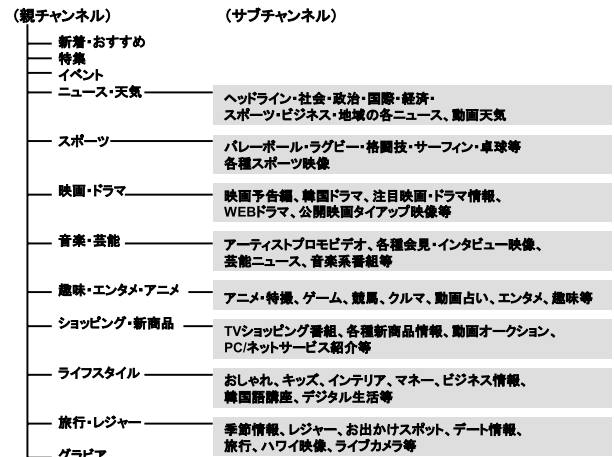


図2 チャンネル構成
Fig.2 Channel configuration.

のコンセプトを意識した、以下の3つの特長を持つサイト設計となっています。

(1) 多種多数の動画のなかから消費者が目的とする情報コンテンツの動画を見つけやすいように、“親チャンネル”、“サブチャンネル”という階層構造で適切に動画を分類し、さらに、動画どうしの関連性や時節の各種イベントなども考慮した掲載、編成を行える仕組みを持たせたこと。

(2) テレビ感覚の視聴スタイルを考慮して、消費者が各チャンネルを選択すると、リストの先頭にある動画が再生され、その後もリストに掲載されている動画を逐一クリックしなくても、自動的に連続再生する仕組みを持たせたこと（個々の動画リストをクリックすることで、その動画を再生することもできます）。

(3) 消費者が視聴している動画に関連した、より深い情報探索を可能とするために、各動画の再生開始に合わせて、関連情報ページや関連サイトへのリンクを表示する仕組みを持たせたこと。

BIGLOBE ストリームは、これらの仕組みを持つことで、消費者が有益な動画を簡単に見つけ、楽しめるようなサイトデザインを提供しています。また、インターネット上の動画を対象として、人手によりカテゴリ分類した動画カテゴリ検索システムや、サイトの自動収集ロボットにより収集したデータをもとにした動画検索システムも提供しており、広くネット上の動画に対する消費者のアクセスの窓口となるサイトをもめざしています。

2.3 掲載動画の紹介

図2は、掲載している動画をジャンル別に分類したチャンネル構成です。ニュース・天気などの毎日の情報収集に欠かせない動画、映画・音楽・芸能などのエンターテインメント系情報満載の楽しめる動画、ショッピング・レジャー情報・衣食住に關係する情報・デジタル製品活用といった日常生活で役に立つ動画など、非常に多彩な分野にわたって動画による情報提供を行っています。また、チャンネル

のなかには、動画のジャンル分類によるものとは別に、最新の動画や、世の中の話題や旬なイベントに関連した動画、ユーザ参加型のイベント企画に関連した動画を掲載するものもあります。

これらの動画のなかには、各種イベントに赴いて独自に取材・撮影した動画や、自ら企画制作した日常生活で役に立つ情報を満載した動画、BIGLOBE ストリームをプロモーションの場として利用して下さるユーザ企業様から提供を受けている動画なども多数含まれており、他社サイトにはないオリジナリティを持っています。図3は、これらの動画コンテンツの一例です。

3. BIGLOBE ストリームのサイト運用基盤

3.1 サイト運用システム

BIGLOBE ストリームは、前述のように掲載動画をチャンネル単位で消費者に提示していますが、その掲載動画は日々追加・削除していく必要があり、また、チャンネル編成もそれに合わせて適切な構成に変更していく必要があります。



図3 BIGLOBE ストリームの掲載動画例
Fig.3 Movie examples of “BIGLOBE stream”.

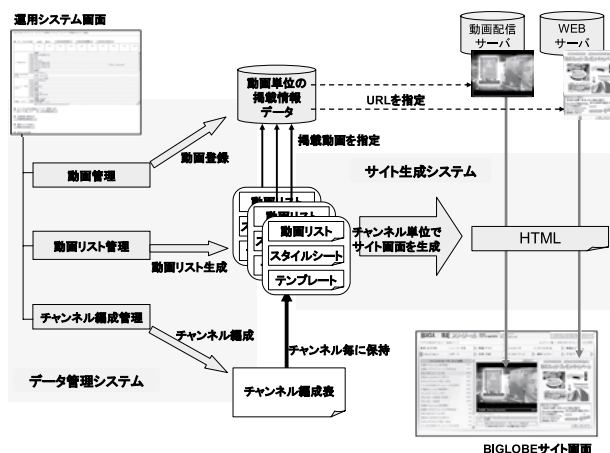


図4 サイト運用システム
Fig.4 Site management system.

ます。図4は、これらのサイト運用を支えるシステムの概略図で、動画掲載やチャンネル編成を行うための「データ管理システム」と、実際にチャンネル別に動画を表示する「サイト生成システム」の2つに大きく分かれます。

(1)「データ管理システム」は、サイトの表示内容を時間的、空間的に規定するデータを生成する、一種のコンテンツマネジメントシステムになっており、主に以下の3つのモジュールから構成されます。

- ・掲載される動画単位で掲載期間、関連情報ページやリンクなどを登録・管理するモジュール（動画管理）
- ・チャンネル自体の日々の編成内容を登録・管理するモジュール（チャンネル編成管理）
- ・チャンネルごとに、そのチャンネルで掲載される動画のリストや表示形式（スタイルシート、テンプレート）を登録・管理するモジュール（動画リスト管理）

(2)「サイト生成システム」は、前述のデータ管理システムにより生成されたチャンネル単位の情報データ（動画リスト、スタイルシート、テンプレートなど）に基づいて、実際にサイト表示するためのHTMLファイルを生成しています。BIGLOBEストリームは、このHTMLファイルに基づいて、動画や関連情報ページを掲載していますが、HTMLファイルの生成を、チャンネルごとに一定時間間隔で自動的に行うことで、最新の掲載・編成変更を取り込めるような仕組みになっています。

3.2 サイト表示のカスタマイズ機能

サイト運用システムでは、前述のように、チャンネル単位で、動画リスト、スタイルシート、テンプレートを用いてHTMLファイルを生成しています。このスタイルシートとテンプレートは、それぞれ、画面全体の色調やフォントデザインなどを規定するデータ、動画表示部分や関連情報ページ表示部分などの画面構成要素を規定するデータであり、チャンネル単位で自由に変更することができます。

この柔軟なサイト運用・管理の仕組みにより、チャンネル



図5 BIGLOBE ストリームのカスタマイズサイト例
Fig.5 Customized sites of "BIGLOBE stream".

ル単位でサイト構成をカスタマイズすることで、その動画ジャンルにふさわしいサイトデザインを作り出すことができます。さらに、このカスタマイズ機能を用いると、図5の例のように、動画掲載をメインにした各種サイトを、BIGLOBEストリームのサイト運用システムをそのまま利用して簡単に構築することができます。

4. BIGLOBE ストリームにおけるビジネス

4.1 ビジネスモデル

BIGLOBEストリームは、多彩なジャンルの動画を収集・掲載してきた結果、2004年9月現在では、1週間に約70万人、1ヵ月に約150万人の消費者に視聴してもらえる規模のサイトになっています。

NECは、このBIGLOBEストリームを、消費者が情報収集のために動画を楽しむための“メディア”であると同時に、ユーザ企業が消費者に対して、動画によって情報発信していくための“メディア”としてとらえており、ここに大きなビジネスチャンスを見出しています。具体的には、主に以下の4つのビジネスモデルを柱にしています。

(1) 動画広告事業

ユーザ企業が消費者に届けたい情報を、BIGLOBEストリーム内でCM動画やインフォーマーシャル番組・ドラマ、動画連動広告などの形で掲載する。

(2) 動画コンテンツ・EC事業

ショッピング番組の掲載や、動画コンテンツの有料販売など、EC・販促支援を行う。

(3) 動画掲載基盤のASP事業

ユーザ企業による動画掲載サイト構築を支援するために、サイト運用システムを提供する。

(4) 動画制作プロデュース事業

動画掲載・運営のノウハウを生かして、インフォーマーシャル動画制作・サイト制作からマーケティング・プロモーションまでトータルに支援・提供する。

4.2 動画広告事業とその掲載事例

前述の4つの柱のうち、特にBIGLOBE ストリームのビジネスにとって中心となるのは、「動画広告事業」であり、すでに多くの実績があります。

動画広告事業は、BIGLOBE ストリームの大きな媒体力を生かして集客した消費者に対して、ユーザ企業の商品などをPRするCM動画やインフォマーシャル番組などを露出することにより、当該ユーザ企業の企業イメージ向上や商品認知拡大をもたらすことを目的としています。具体的に以下の4つのメニューをユーザ企業に提供してきました。

(1) 動画CMモデル

特にチャンネルを指定することなく、消費者がいずれかのチャンネルを選択した際に、そのチャンネルの掲載動画が流れる前に、ユーザ企業の動画を強制的に流す形態（テレビCMと同じく15秒の短時間スポット動画を流す形になります）。

(2) 動画掲載モデル

特定のチャンネルを指定して、そのチャンネル内で流れる動画リストを構成する1動画として、ユーザ企業の動画を掲載する形態（掲載動画が1～2個で少ない場合などによくご利用いただきます）。

(3) チャンネル占有モデル

ユーザ企業専用のチャンネルを新設して、そのチャンネル内に動画を掲載する形態（掲載動画が多く、まとまったテーマ・イメージを訴求したい時に最適です）。

(4) 関連広告モデル

BIGLOBE ストリーム内に存在する動画に連動する形で、その動画と親和性のあるユーザ企業の関連ページやバナー広告を掲載する形態（たとえば、動画天気番組に対して、レジャー関係の広告を関連情報として表示するような場合です）。

図6は、上記の（2）の動画掲載モデルによる具体的なビジネス事例で、アサヒビール(株)殿から提供を受けた「世界銘酒紀行」シリーズの動画を、BIGLOBE ストリーム内の

「旅行」チャンネルに毎月継続的に掲載させていただいたものです。

今後、ユーザ企業が企業ブランディング向上を目的としたインフォマーシャル動画を制作する例や、企業イメージに合ったWebドラマ・情報提供番組とタイアップして連動広告を掲載する例はますます増えてくるものと思われ、BIGLOBE ストリームでは、これらのニーズに対応した動画広告メニューを提供していきます。

5. むすび

ブロードバンド接続環境のいっそうの広がりと定着に伴いインターネットのメディアとしての位置づけはさらに大きくなっています。NECは、その環境下で、特に動画による情報発信が非常に重要な位置を占めるものと考え、動画を中心としたポータルサイトである“BIGLOBE ストリーム”を展開してきました。

今後は、独自性ある動画をいっそう増やしていくとともに、消費者の1日、1週間のライフスタイルを意識した24時間タイムテーブルによる動画番組編成・配信を実現していくことで、消費者の情報獲得ニーズに応えていきます。併せて、積極的に媒体力拡大を図り、本年度中には1週間に100万人以上、1ヵ月に300万人以上の消費者に視聴してもらえるメディア規模にしていきます。

一方、この大きな媒体力を持つBIGLOBE ストリーム上でのユーザ企業による情報発信・マーケティング活動を促進・支援するために、インフラ・プラットフォーム環境の整備を進めると同時に、ユーザ企業のニーズに合った動画の企画・制作・調達から、サイト制作・プロモーションまで一貫したサービスを提供していきます。そして、ユーザ企業とのコラボレーションによって、BIGLOBE ストリームのメディアとしての価値をさらに高め、ブロードバンド時代の“No.1 メディア”をめざしていきます。

筆者紹介



Toshio Oizumi

おおいずみ としお
大泉 俊雄 1994年、NEC入社。現在、BIGLOBE 事業本部BIGLOBE ビジネス事業部主任。



Hajime Takano

たか の はじめ
高野 元 1990年、NEC入社。現在、BIGLOBE 事業本部BIGLOBE ビジネス事業部マネージャー。



Tomonari Kamba

かんば ともなり
神場 知成 1986年、NEC入社。現在、BIGLOBE 事業本部BIGLOBE ビジネス事業部グループマネージャー。



図6 動画広告事業の事例
Fig.6 Example of movie ad.